

2023年8月23日
株式会社アイスタット
News Release

株式会社アイスタット マンスリーレポート

- 副業・兼業に関するアンケート -

(調査期間：2023年8月14日)

厚生労働省が提唱する「働き方改革実行計画」（平成29年3月28日）やコロナ禍、そして急速な経営環境の変化により、副業・兼業の人々が増加しているという話をよく耳にします。このような背景から、株式会社アイスタット（本社：東京都杉並区、代表取締役社長：志賀保夫）は、副業・兼業に関する実態を探るため、アンケート調査を実施しました。また、対象地域を「東京都」「大阪府」に絞り、その比較も行いました。

本調査は、業界最大規模のモニター数を誇るセルフ型アンケートツール「Freeasy」を提供するアイブリッジ株式会社（本社：大阪府大阪市）の会員 20 歳～59 歳、有職者、東京都・大阪府に居住する300人を対象に調査を実施しました。

調査結果サマリー

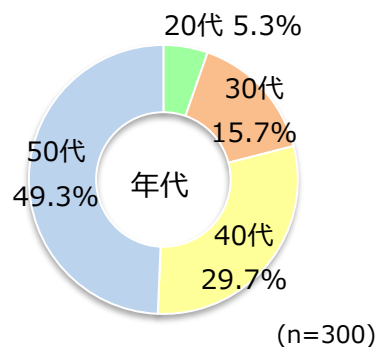
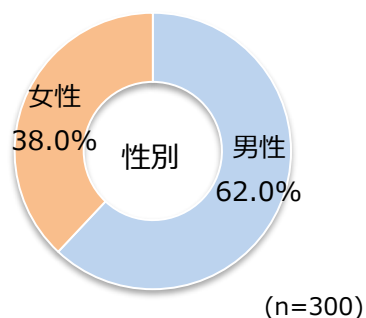
- ✓ 現在、副業・兼業している人は2割近く！東京都vs大阪府では「大阪府」の方が多い！
- ✓ 4割の人が勤務先で副業・兼業が認められている！承認率は「大阪府」の方が高い！
- ✓ 副業・兼業の意向は、「希望する」が「希望しない」を下回るものの、ほぼ同じの5割！
- ✓ 副業・兼業の希望理由の第1位は「収入増加」、第2位は「生活費や家計の足し」
収入面を希望理由とする回答は、東京都の人の方が大阪府の人より多い！
- ✓ 副業・兼業を希望しない理由の第1位は「本業に支障」、第2位は「時間がない」
- ✓ 気になる副業・兼業は第1位「アンケート」、第2位「ポイントサイト」、第3位「投資・FX」
年収が「800万円以上」の人ほど「スキル」が必要な副業・兼業、「300万円未満」の人ほど気軽にできる副業・兼業が気になっている！
- ✓ 副業・兼業の経験「あり」と「なし」の主な違いは「自分から行動・情報収集ができる」！
- ✓ 東京都の人の方が「副業・兼業が高収入であればしたい」と考える傾向あり！

調査概要

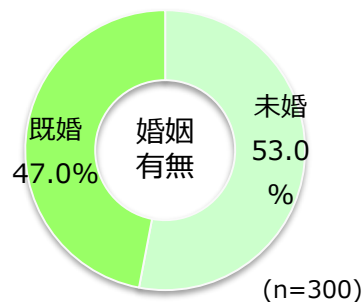
形式	Webアンケート形式
調査期間	2023年8月14日
回答者	セルフ型アンケートツールFreeasyに登録している20歳～59歳、有職者、東京都・大阪府にお住まいの会員300人
調査機関	株式会社アイスタット

【回答者属性】

全体		300名	100.0%
性別	男性	186名	62.0%
	女性	114名	38.0%
年代	20代	16名	5.3%
	30代	47名	15.7%
	40代	89名	29.7%
	50代	148名	49.3%
有 婚 無 姻	未婚	159名	53.0%
	既婚	141名	47.0%
居 住 地	東京都	191名	63.7%
	大阪府	109名	36.3%
職 業	会社員(正社員)	176名	58.7%
	会社員（契約・派遣社員）	21名	7.0%
	経営者・役員	7名	2.3%
	公務員（教職員を除く）	9名	3.0%
	自営業	22名	7.3%
	自由業	10名	3.3%
	医師・医療関係者	3名	1.0%
	パート・アルバイト	52名	17.3%
年 収	100万円未満	27名	9.0%
	100万円台	27名	9.0%
	200万円台	34名	11.3%
	300万円台	46名	15.3%
	400万円台	37名	12.3%
	500万円台	36名	12.0%
	600万円台	27名	9.0%
	700万円台	18名	6.0%
	800万円台	14名	4.7%
	900万円台	6名	2.0%
	1000万円以上	28名	9.3%



平均年齢（47.2才）



主な分析結果

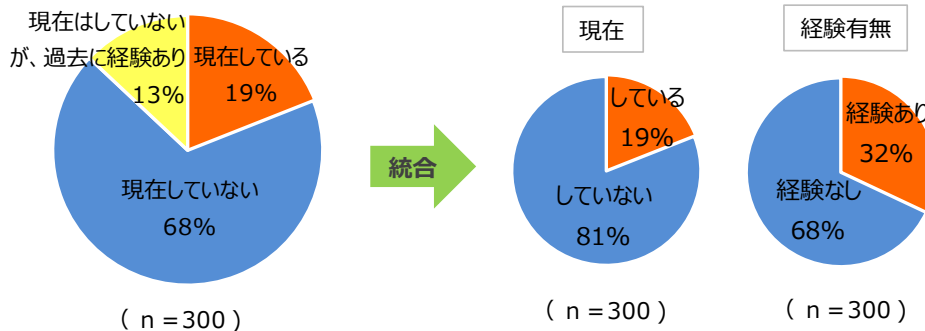
現在、副業・兼業している人は2割近く！ 東京都 vs 大阪府では「大阪府」の方が多い！

副業、兼業状況を聞いたところ、「現在していない」が68%で最も多く、次に「現在している」の19%、「現在はしていないが、過去に経験あり」の13%の順で続いた。この回答を統合してみると、「現在している」は2割近く、「経験あり」は3割であることが明らかとなった。

属性別でみると、「現在している」を回答した人は「大阪府」「20代・30代」「男性」「既婚」「年収300万円未満」「非会社員」で多かった。

副業・兼業とは、一般的に、収入を得るために携わる本業以外の仕事を指します。

【図1】 あなたの副業・兼業状況について、お知らせください。（回答は1つ）



(横%表)

		副業・兼業状況		n
		現在している	現在していない	
全体		19.0	81.0	300
居住地	東京都	15.2	84.8	191
	大阪府	25.7	74.3	109
年代	20代・30代	28.6	71.4	63
	40代	18.0	82.0	89
	50代	15.5	84.5	148
性別	男性	21.0	79.0	186
	女性	15.8	84.2	114
婚姻有無	未婚	18.2	81.8	159
	既婚	19.9	80.1	141
年収	300万円未満	23.9	76.1	88
	300万円～500万円未満	14.5	85.5	83
	500万円～800万円未満	17.3	82.7	81
	800万円以上	20.8	79.2	48
職業	会社員	19.3	80.7	197
	非会社員	19.6	80.4	51
	パート・アルバイト	17.3	82.7	52

各項目を縦に見て最大値に彩色

※ 非会社員 → 「経営者・役員」「公務員（教職員を除く）」
「自営業」「自由業」「医師・医療関係者」

▼独立性の検定
(カイ2乗検定)

p 値	判定	相関	相関順位
0.026	[*]	0.1288	1 位
0.084	[]	0.1286	2 位
0.267	[]	0.0641	4 位
0.721	[]	0.0206	5 位
0.436	[]	0.0953	3 位
0.942	[]	0.0200	6 位

副業・兼業状況と関連がある
属性は？ 第1位「居住地」

■ 独立性の検定は、クロス集計を行った結果が、母集団においても関連性があるといえるかを調べる。
判定「*」は、母集団に関連性があるといえる。
■ クラメル連関係数は、行項目と列項目の関連の強さを示す指標で、0.1以上は2項目間に相関（関連）があるといえる。

4割の人が勤務先で副業・兼業が認められている！ 承認率は「大阪府」の方が高い！

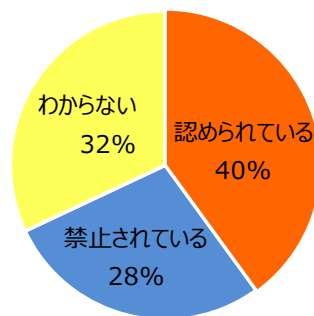
現在の勤務先で副業・兼業が認められているかを聞いたところ、「認められている」が40%で最も多く、次に「わからない」の32%、「禁止されている」の28%の順で続いた。

厚生労働省の「働き方改革実行計画」（平成29年3月28日）やコロナ禍、経営環境の急速な変化を背景に、副業・兼業を解禁する企業が増えていると耳にする。今回の調査でも4割の人が勤務先で認められていたことから、副業・兼業の環境整備が進んでいると実感できた。

東京都 vs 大阪府でみると、「認められている」を回答した人は「大阪府」の方が多い。

現在の副業・兼業状況との関連でみると、「認められている」を回答した人は「現在している」の方が多く、「禁止」「わからない」を回答した人は「現在していない」の方が多い妥当な結果であった。

【図2】 現在のお勤めの会社では、副業・兼業は認められていますか。（回答は1つ）



(n = 300)

(横%表)

		勤務先の副業・兼業			n
		認められている	禁止されている	わからない	
全体		40.0	28.0	32.0	300
居住地	東京都	35.6	29.8	34.6	191
	大阪府	47.7	24.8	27.5	109

各項目を縦に見て最大値に彩色

▼独立性の検定
(カイ2乗検定)

p 値	判定
0.119	[]

(横%表)

		勤務先の副業・兼業			n
		認められている	禁止されている	わからない	
全体		40.0	28.0	32.0	300
副業・兼業 状況	現在、している	71.9	5.3	22.8	57
	現在、していない	32.5	33.3	34.2	243

各項目を縦に見て最大値に彩色

▼独立性の検定
(カイ2乗検定)

p 値	判定
0.000	[**]

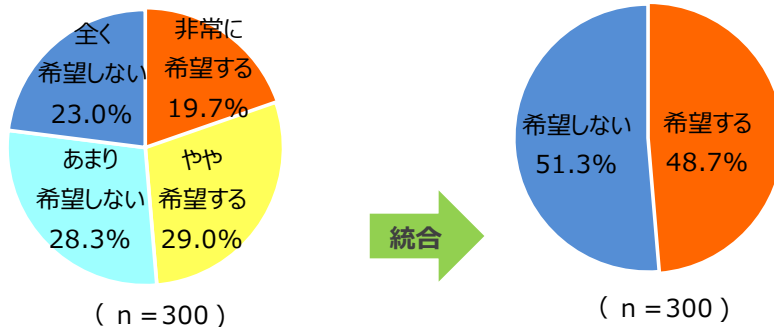
副業・兼業の意向は、「希望する」が「希望しない」を下回るものの、ほぼ同じの5割！

現在の副業・兼業状況、勤務先の承認有無に関わらず、副業・兼業を希望するかを聞いたところ、「希望する（48.7%）」が「希望しない（51.3%）」を下回ったものの、ほぼ同じ5割の結果であった。

属性別でみると、「希望する」を回答した人は「大阪府」「40代」「男性」「未婚」「年収が300万円～500万円未満」「会社員」で多かった。また、副業・兼業の希望有無に最も影響がある（関連がある）属性は、統計解析より「年収」であることが明らかとなった。

【図3】あなたは、副業・兼業を希望しますか。（回答は1つ）

※ 現在の副業・兼業実施有無、勤め先の承認有無に関わらず、お答えください。



(横%表)

		副業・兼業の希望		n
		希望する	希望しない	
全体		48.7	51.3	300
居住地	東京都	48.2	51.8	191
	大阪府	49.5	50.5	109
年代	20代・30代	52.4	47.6	63
	40代	53.9	46.1	89
	50代	43.9	56.1	148
性別	男性	49.5	50.5	186
	女性	47.4	52.6	114
婚姻有無	未婚	52.2	47.8	159
	既婚	44.7	55.3	141
年収	300万円未満	51.1	48.9	88
	300万円～500万円未満	59.0	41.0	83
	500万円～800万円未満	43.2	56.8	81
	800万円以上	35.4	64.6	48
職業	会社員	51.8	48.2	197
	非会社員	47.1	52.9	51
	パート・アルバイト	38.5	61.5	52

各項目を縦に見て最大値に彩色

※ 非会社員 → 「経営者・役員」「公務員（教職員を除く）」
「自営業」「自由業」「医師・医療関係者」

▼独立性の検定 (カイ2乗検定)

p 値	判定	相関	相関順位
0.819	[]	0.013	6 位
0.263	[]	0.094	3 位
0.725	[]	0.020	5 位
0.193	[]	0.075	4 位
0.043	[*]	0.165	1 位
0.225	[]	0.100	2 位

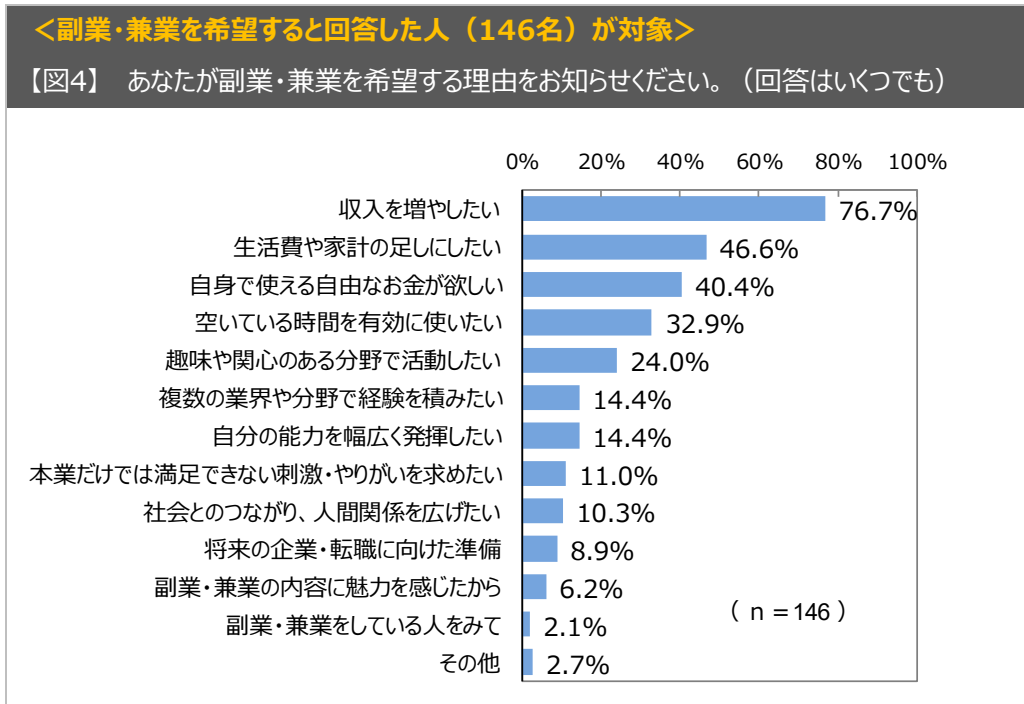
クラメル連関係数が0・1以上は
2項目間に相関（関連）があるといえる。

副業・兼業の希望と関連が
ある属性は？ 第1位「年収」

副業・兼業の希望理由の第1位は「収入増加」、第2位は「生活費や家計の足し」 収入面を希望理由とする回答は、東京都の人の方が大阪府の人より多い！

副業・兼業を希望すると回答した146名に、その理由を複数回答で聞いたところ、「収入を増やしたい」が76.7%で最も多く、次に「生活費や家計の足しにしたい」の46.6%、「自身で使える自由なお金が欲しい」の40.4%の順で続いた。上位は、いずれも収入面の内容が占めた。

東京都 vs 大阪府で希望理由をみると、東京都の人ほど「収入面」に関する理由が多く、大阪府の人ほど「社会とのつながり」「時間を有効に」「やりがい」「スキル面」など収入面以外に関する理由が多かった。



(横%表)

居住地の①「彩色ごと」、②「彩色 - 全体の差の降順」で並び替え

		副業・兼業を希望する理由												n
		自身で使える自由なお金	生活費や家計の足しにしたい	将来の企業・転職に向けた準備	収入を増やしたい	副業・兼業をしている人を見て	社会とのつながり、人間関係を広げたい	空いている時間を有効に使いたい	本業だけでは満足できない刺激・やりがいを求めたい	趣味や関心のある分野で活動したい	副業・兼業の内容に魅力を感じたから	複数の業界や分野で経験を積みたい	自分の能力を幅広く発揮したい	
全体		40.4	46.6	8.9	76.7	2.1	10.3	32.9	11.0	24.0	6.2	14.4	14.4	2.7
居住地	東京都	42.4	47.8	9.8	77.2	2.2	8.7	31.5	9.8	22.8	5.4	14.1	14.1	4.3
	大阪府	37.0	44.4	7.4	75.9	1.9	13.0	35.2	13.0	25.9	7.4	14.8	14.8	0.0
年代	20代・30代	39.4	48.5	6.1	75.8	0.0	3.0	27.3	6.1	21.2	3.0	12.1	9.1	3.0
	40代	37.5	50.0	14.6	79.2	6.3	8.3	41.7	16.7	25.0	10.4	20.8	14.6	2.1
	50代	43.1	43.1	6.2	75.4	0.0	15.4	29.2	9.2	24.6	4.6	10.8	16.9	3.1
性別	男性	45.7	42.4	12.0	69.6	1.1	13.0	35.9	14.1	27.2	6.5	18.5	17.4	2.2
	女性	31.5	53.7	3.7	88.9	3.7	5.6	27.8	5.6	18.5	5.6	7.4	9.3	3.7
婚姻有無	未婚	38.6	50.6	4.8	77.1	1.2	7.2	25.3	8.4	22.9	7.2	15.7	10.8	4.8
	既婚	42.9	41.3	14.3	76.2	3.2	14.3	42.9	14.3	25.4	4.8	12.7	19.0	0.0
年収	300万円未満	33.3	57.8	4.4	84.4	4.4	8.9	40.0	8.9	17.8	11.1	13.3	13.3	2.2
	300万円～500万円未満	46.9	55.1	4.1	85.7	2.0	12.2	22.4	12.2	24.5	4.1	8.2	12.2	0.0
	500万円～800万円未満	45.7	40.0	14.3	71.4	0.0	11.4	37.1	8.6	22.9	2.9	20.0	14.3	2.9
	800万円以上	29.4	5.9	23.5	41.2	0.0	5.9	35.3	17.6	41.2	5.9	23.5	23.5	11.8

各項目を縦に見て最大値に彩色

※ n = 30未満は参考値とする

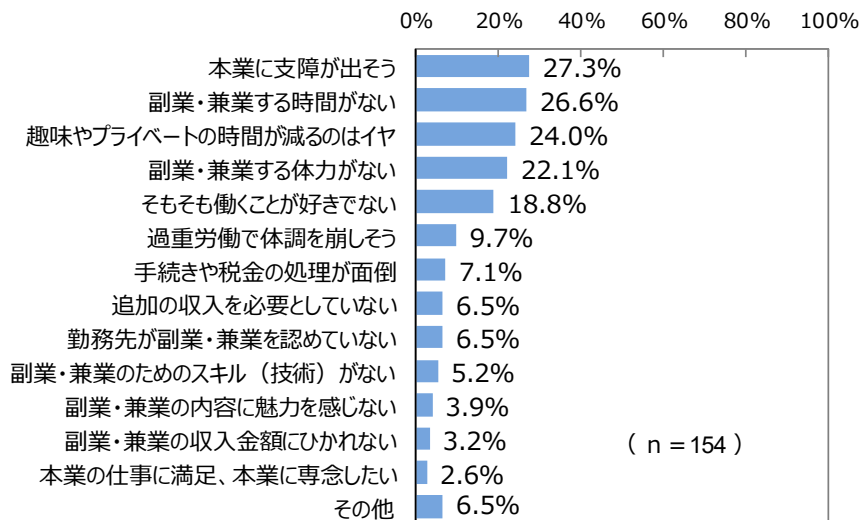
副業・兼業を希望しない理由の第1位は「本業に支障」、第2位は「時間がない」

副業・兼業を希望しないと回答した154名に、その理由を複数回答で聞いたところ、「本業に支障が出そう」が27.3%で最も多く、次に「副業・兼業する時間がない」の26.6%、「趣味やプライベートの時間が減るのはイヤ」の24%、「体力がない」の22.1%の順で続いた。

東京都 vs 大阪府で希望理由をみると、「本業に支障」「働くことが好きでない」「時間がない」「税金の処理が面倒」「収入金額にひかれない」「本業に専念したい」を回答した人は東京都の人ほど多く、それ以外の内容では大阪府の人の方が多かった。

<副業・兼業を希望しないと回答した人（154名）が対象>

【図5】 あなたが副業・兼業を希望しない理由をお知らせください。（回答はいくつでも）



(横%表)

居住地の①「彩色ごと」、②「彩色 - 全体の差の降順」で並び替え

	副業・兼業を希望しない理由													n
	本業に支障が出そう	そもそも働くことが好きでない	副業・兼業する時間がない	手続きや税金の処理が面倒	副業・兼業の収入金額にひかれない	本業の仕事に満足、本業に専念したい	副業・兼業の内容に魅力を感じない	趣味やプライベートの時間が減るのはイヤ	過重労働で体調を崩しそう	追加の収入を必要としない	副業・兼業のためのスキルがない	副業・兼業する体力がない	勤務先が副業・兼業を認めていない	
全体	27.3	18.8	26.6	7.1	3.2	2.6	3.9	24.0	9.7	6.5	5.2	22.1	6.5	154
居住地														
東京都	31.3	21.2	28.3	8.1	4.0	3.0	2.0	22.2	8.1	5.1	4.0	21.2	6.1	99
大阪府	20.0	14.5	23.6	5.5	1.8	1.8	7.3	27.3	12.7	9.1	7.3	23.6	7.3	55
年代														
20代・30代	13.3	33.3	10.0	6.7	3.3	0.0	6.7	20.0	6.7	3.3	6.7	13.3	3.3	30
40代	34.1	9.8	36.6	4.9	0.0	0.0	2.4	29.3	12.2	2.4	7.3	31.7	2.4	41
50代	28.9	18.1	27.7	8.4	4.8	4.8	3.6	22.9	9.6	9.6	3.6	20.5	9.6	83
性別														
男性	29.8	21.3	25.5	5.3	3.2	4.3	3.2	22.3	8.5	7.4	4.3	14.9	7.4	94
女性	23.3	15.0	28.3	10.0	3.3	0.0	5.0	26.7	11.7	5.0	6.7	33.3	5.0	60
婚姻有無														
未婚	25.0	18.4	22.4	7.9	2.6	2.6	2.6	19.7	9.2	7.9	3.9	23.7	5.3	76
既婚	29.5	19.2	30.8	6.4	3.8	2.6	5.1	28.2	10.3	5.1	6.4	20.5	7.7	78
年収														
300万円未満	16.3	30.2	23.3	14.0	2.3	2.3	0.0	23.3	4.7	9.3	9.3	27.9	2.3	43
300万円～500万円未満	29.4	17.6	26.5	2.9	2.9	2.9	0.0	20.6	14.7	5.9	5.9	11.8	11.8	34
500万円～800万円未満	37.0	13.0	28.3	6.5	4.3	2.2	6.5	21.7	10.9	2.2	2.2	37.0	8.7	46
800万円以上	25.8	12.9	29.0	3.2	3.2	3.2	9.7	32.3	9.7	9.7	3.2	3.2	3.2	31

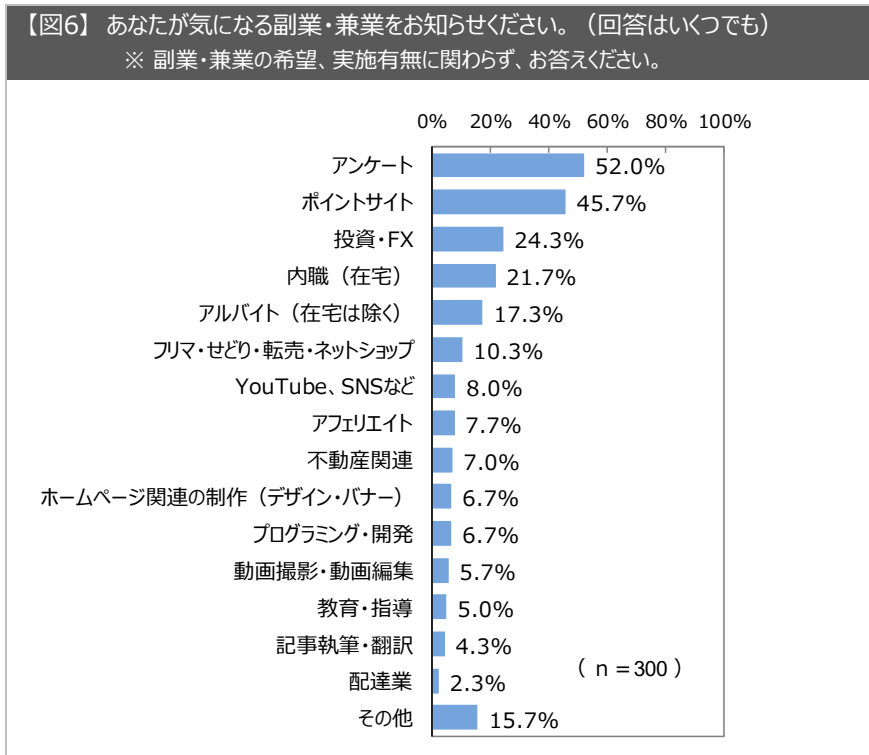
各項目を縦に見て最大値に彩色

気になる副業・兼業は第1位「アンケート」、第2位「ポイントサイト」、第3位「投資・FX」

副業・兼業の希望、実施有無に関わらず、気になる副業・兼業を複数回答で聞いたところ、「アンケート」が52%で最も多く、次に「ポイントサイト」の45.7%、「投資・FX」の24.3%、内職（在宅）の21.7%の順で続いた。トップ2位は、気軽にできる内容が占めた。

東京都 vs 大阪府でみると、東京都の人ほど「アンケート」「内職」「動画撮影・編集」「YouTube、SNS」の方が多く、それ以外の内容では大阪府の人の方が多かった。

年収別でみると、「800万円以上」の人ほど「スキル」が必要な内容が多く、「300万円未満」の人ほど、気軽にできる内容が多かった。



(横%表)

年収の①「彩色ごと」、②「彩色 - 全体の差の降順」で並び替え

		気になる副業・兼業																
アンケート		内職 (在宅)	ポイントサ イト	アルバイト (在宅は 除く)	教育・指 導	アフェリ イト	動画撮 影・動画 編集	フリマ・セ どり・転 売・ネット ショップ	配達業	投資・FX	不動産 関連	プログラ ミング・開 発	YouTub e、SNS など	記事執 筆・翻訳	ホーム ページ関 連の制作	その他	n	
居住地	全体	52.0	21.7	45.7	17.3	5.0	7.7	5.7	10.3	2.3	24.3	7.0	6.7	8.0	4.3	6.7	15.7	300
	東京都	52.9	23.0	45.5	13.6	4.7	6.3	7.3	9.9	1.6	23.6	6.8	6.3	8.9	4.2	6.8	15.7	191
	大阪府	50.5	19.3	45.9	23.9	5.5	10.1	2.8	11.0	3.7	25.7	7.3	7.3	6.4	4.6	6.4	15.6	109
年収	300万円未満	63.6	29.5	52.3	20.5	6.8	9.1	6.8	8.0	2.3	14.8	2.3	3.4	6.8	3.4	5.7	11.4	88
	300万円～500万円未満	59.0	27.7	50.6	18.1	3.6	6.0	6.0	15.7	2.4	22.9	4.8	2.4	9.6	3.6	6.0	20.5	83
	500万円～800万円未満	45.7	17.3	42.0	17.3	4.9	7.4	3.7	13.6	3.7	28.4	8.6	9.9	6.2	4.9	7.4	13.6	81
	800万円以上	29.2	4.2	31.3	10.4	4.2	8.3	6.3	0.0	0.0	37.5	16.7	14.6	10.4	6.3	8.3	18.8	48
年代	20代・30代	38.1	20.6	33.3	15.9	3.2	6.3	6.3	9.5	1.6	23.8	4.8	11.1	4.8	4.8	9.5	12.7	63
	40代	57.3	27.0	52.8	23.6	5.6	4.5	6.7	9.0	3.4	25.8	7.9	6.7	7.9	4.5	6.7	11.2	89
	50代	54.7	18.9	46.6	14.2	5.4	10.1	4.7	11.5	2.0	23.6	7.4	4.7	9.5	4.1	5.4	19.6	148
性別	男性	48.4	17.2	44.1	17.2	6.5	8.6	6.5	11.3	2.7	26.3	9.1	7.5	11.8	5.9	7.5	16.7	186
	女性	57.9	28.9	48.2	17.5	2.6	6.1	4.4	8.8	1.8	21.1	3.5	5.3	1.8	1.8	5.3	14.0	114
婚姻有無	未婚	52.2	26.4	43.4	18.2	5.7	5.7	6.3	10.1	2.5	22.6	6.9	5.7	6.3	6.9	6.9	18.9	159
	既婚	51.8	16.3	48.2	16.3	4.3	9.9	5.0	10.6	2.1	26.2	7.1	7.8	9.9	1.4	6.4	12.1	141

各項目を縦に見て最大値に彩色

副業・兼業の経験「あり」と「なし」の主な違いは「自分から行動・情報収集ができる」！

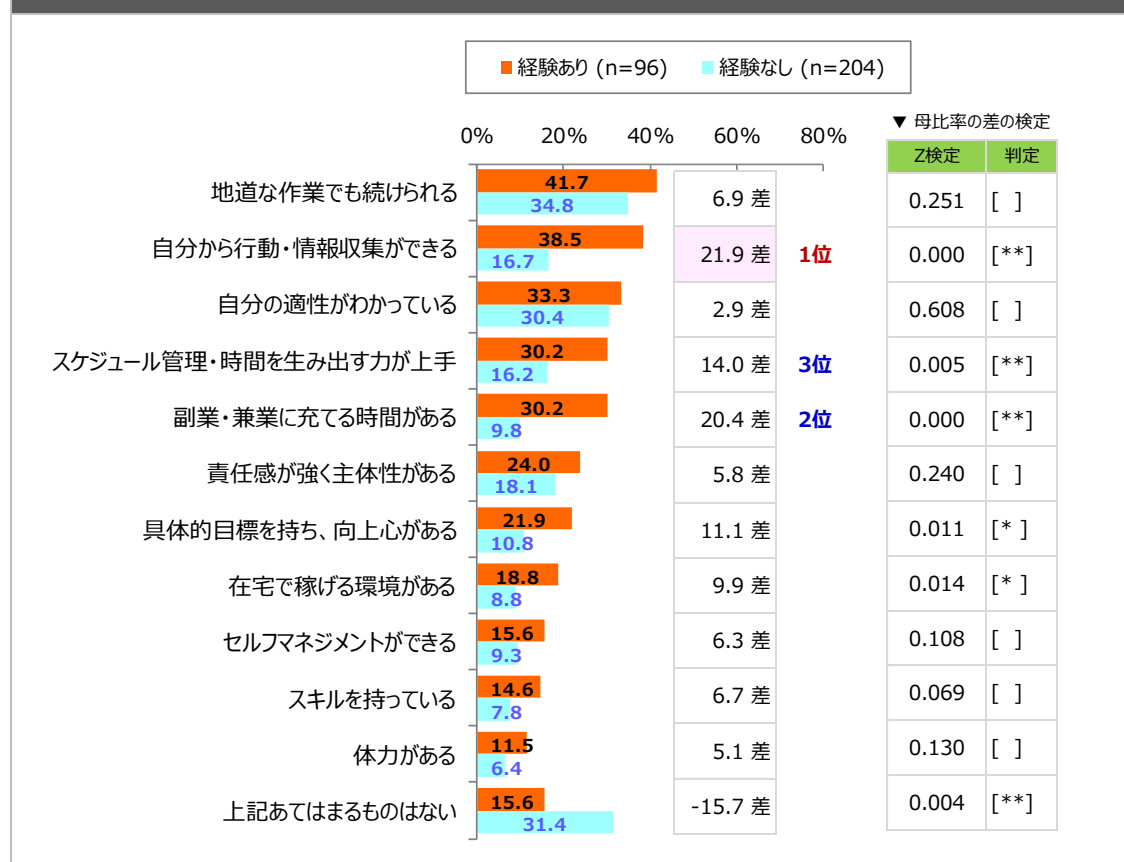
副業・兼業する人の特徴をいくつか提示し、あてはまるかを複数回答で聞き、副業・兼業の経験有無別でみた。全ての特徴で「あてはまる」を回答した人は「経験あり」の方が「経験なし」より多く、「上記あてはまるものはない」を回答した人は「経験なし」の方が多かった。これより、提示した特徴に該当する人は「副業・兼業向き」のタイプであることが示された。

次に「経験あり」を回答した96名の人の特徴をランキングしてみると、第1位は「地道な作業でも続けられる（41.7%）」、第2位は「自分から行動・情報収集ができる（38.5%）」、第3位は「自分の適性がわかっている（33.3%）」の結果であった。

さらに、「経験あり」と「経験なし」の人の主な違いは何かを差より調べた。第1位は「自分から行動・情報収集ができる」、第2位は「副業・兼業に充てる時間がある」、第3位は「スケジュール管理・時間を生み出す力が上手」であった。

副業・兼業は誰もができるわけではなく、副業・兼業向きタイプ、労力や時間が大事であることがあらためてうかがえた。

【図7】 下記の中で、あなた自身、あてはまるものはありますか。（回答はいくつでも）



※ 母比率の差の検定 … 2つの母集団の比率に差があるか。

判定マークがある項目は、母集団に違いがあるといえる。（有意な差がある）

年収別でみると、「800万円以上」の人ほど「スキル」が必要な内容が多かった。

婚姻有無別でみると、「副業・兼業に充てる時間がある」は「未婚」の方が多く、それ以外の内容は「既婚」の方が多かった。既婚すると特徴が変わるのだろうか。大変興味深い結果であった。

(横%表)

年収の①「彩色ごと」、②「彩色 - 全体の差の降順」で並び替え

		あてはまるもの											n
		体力がある	地道な作業でも続けられる	自分の適性がある	副業・兼業に充てる時間がある	スキルを持っている	スケジュール管理・時間を生み出す力が上手	具体的目標を持ち、向上心がある	自分から行動・情報収集ができる	セルフマネジメントができる	責任感が強く主体性がある	在宅で稼げる環境がある	
全体		8.0	37.0	31.3	16.3	10.0	20.7	14.3	23.7	11.3	20.0	12.0	300
年収	300万円未満	11.4	37.5	27.3	15.9	3.4	18.2	11.4	14.8	6.8	18.2	12.5	88
	300万円～500万円未満	7.2	41.0	33.7	20.5	8.4	16.9	14.5	25.3	10.8	21.7	13.3	83
	500万円～800万円未満	4.9	35.8	33.3	11.1	13.6	22.2	13.6	28.4	13.6	18.5	8.6	81
	800万円以上	8.3	31.3	31.3	18.8	18.8	29.2	20.8	29.2	16.7	22.9	14.6	48
副業・兼業	経験あり	11.5	41.7	33.3	30.2	14.6	30.2	21.9	38.5	15.6	24.0	18.8	96
	経験なし	6.4	34.8	30.4	9.8	7.8	16.2	10.8	16.7	9.3	18.1	8.8	204
居住地	東京都	5.2	34.6	32.5	16.8	9.4	20.4	15.2	25.7	10.5	21.5	13.6	191
	大阪府	12.8	41.3	29.4	15.6	11.0	21.1	12.8	20.2	12.8	17.4	9.2	109
年代	20代・30代	3.2	23.8	17.5	15.9	6.3	15.9	7.9	14.3	12.7	9.5	9.5	63
	40代	10.1	42.7	34.8	19.1	10.1	30.3	18.0	30.3	13.5	25.8	19.1	89
	50代	8.8	39.2	35.1	14.9	11.5	16.9	14.9	23.6	9.5	20.9	8.8	148
性別	男性	7.5	34.9	32.3	18.8	14.0	21.5	17.7	28.0	12.4	19.4	11.3	186
	女性	8.8	40.4	29.8	12.3	3.5	19.3	8.8	16.7	9.6	21.1	13.2	114
婚姻有無	未婚	6.9	35.8	28.3	17.6	6.3	18.2	12.6	22.6	11.3	18.9	11.3	159
	既婚	9.2	38.3	34.8	14.9	14.2	23.4	16.3	24.8	11.3	21.3	12.8	141

各項目を縦に見て最大値に彩色

東京都の方が「副業・兼業が高収入であればしたい」と考える傾向あり！

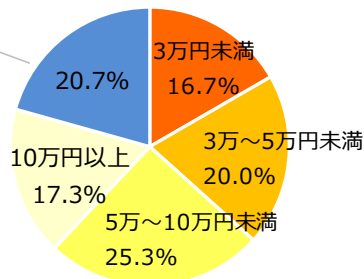
仮に毎月の副業・兼業の収入がいくらであれば、副業・兼業をしたいと考えるようになるかを聞いたところ、「5万～10万円未満」が25.3%で最も多く、次に「多額の収入があっても副業・兼業はしたいと思わない」の20.7%、「3万～5万円未満」の20.0%と続いた。

東京都 vs 大阪府でみると、「5万円未満」は大阪府の人ほど多く、「5万円以上」は東京都の人ほど多い結果であった。これより、東京都の方が高収入の副業・兼業でないと「したい」と考えない傾向があることが明らかとなった。一方、「多額の収入があっても副業・兼業はしたいと思わない」の回答は、東京都、大阪府で大きな差は見られなかった。

年収別でみると、年収が「300万円未満」の人ほど「5万円未満」の収入額であれば考えるの回答が多く、一方で年収が「800万円以上」の人ほど「10万円以上」「多額の収入があっても思わない」の回答が多い、納得のいく結果であった。

【図8】 仮に毎月の副業・兼業の収入がいくらであれば、あなたは副業・兼業をしたいと考えるようになりますか。（回答は1つ）
※ 勤務先の承認有無に関わらず、お答えください。

多額の収入があっても
副業・兼業はしたいと
思わない



(n=300)

(横%表)

		副業・兼業をしたいと考えるようになる収入額					n	▼独立性の検定 (カイ2乗検定)	
		3万円未満	3～5万円未満	5～10万円未満	10万円以上	多額の収入があっても思わない		p 値	判定
	全体	16.7	20.0	25.3	17.3	20.7	300	0.077	[]
居住地	東京都	13.1	18.3	27.2	20.4	20.9	191	0.001	[**]
	大阪府	22.9	22.9	22.0	11.9	20.2	109		
年収	300万円未満	27.3	25.0	19.3	6.8	21.6	88	0.346	[]
	300万円～500万円未満	13.3	18.1	36.1	15.7	16.9	83		
	500万円～800万円未満	9.9	21.0	27.2	19.8	22.2	81		
	800万円以上	14.6	12.5	14.6	35.4	22.9	48		
年代	20代・30代	23.8	19.0	23.8	11.1	22.2	63	0.406	[]
	40代	16.9	25.8	23.6	14.6	19.1	89		
	50代	13.5	16.9	27.0	21.6	20.9	148		
性別	男性	18.3	18.3	24.2	19.9	19.4	186	0.752	[]
	女性	14.0	22.8	27.2	13.2	22.8	114		
婚姻有無	未婚	16.4	18.2	28.3	16.4	20.8	159	0.016	[*]
	既婚	17.0	22.0	22.0	18.4	20.6	141		
職業	会社員	15.2	20.8	29.9	16.8	17.3	197	0.016	[*]
	非会社員	17.6	19.6	11.8	29.4	21.6	51		
	パート・アルバイト	21.2	17.3	21.2	7.7	32.7	52		

各項目を縦に見て最大値に彩色

今月のレベルアップ

カテゴリーデータを類似化する時、「数量化3類」と「クラスター分析」のどちらを使うか？

多変量解析を使っていくつかの**カテゴリーデータを類似化・分類する時**、

「数量化3類」「クラスター分析」のどちらを適用するか悩むことはありませんか。この2つは、似たような手法ですが、類似化・分類の仕方が異なります。解析目的にあった手法を使いましょう。

「**クラスター分析**」⇒ ・回答の仕方が似ているもので**グルーピング**（距離の近いものをまとめる）
・「変数クラスター」「サンプルクラスター」の2つがある

「**数量化3類**」⇒ ・項目に重み（ウェイト）を付けた関係式を作成し、各個体の得点を算出する（カテゴリースコア）
（サンプルスコア）

・カテゴリースコア、サンプルスコアを**ポジショニング**（近い内容が類似）

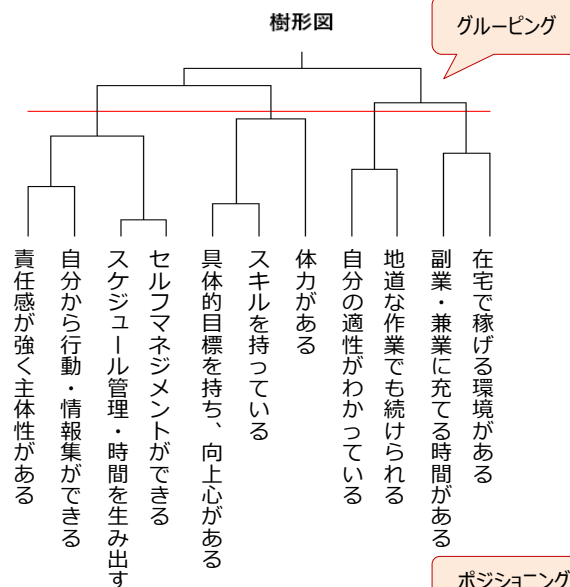
※ 数量化3類は、データが**5項目以上**の場合に適している。

▼ 特徴のデータ11項目（「1」「0」データに変換）を類似化・分類する

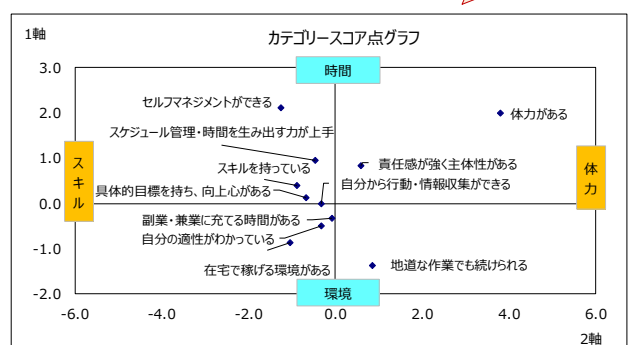
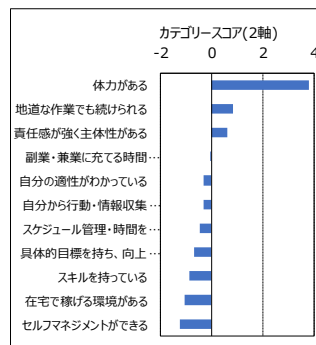
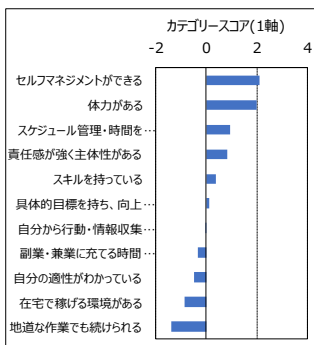
副業・兼業の特徴であてはまるもの（複数回答可）

No.	カテゴリー名	n	全体 %
1	地道な作業でも続けられる	111	37.0
2	自分の適性がわかっている	94	31.3
3	自分から行動・情報収集ができる	71	23.7
4	スケジュール管理・時間を生み出す力が上手	62	20.7
5	責任感が強く主体性がある	60	20.0
6	副業・兼業に充てる時間がある	49	16.3
7	具体的目標を持ち、向上心がある	43	14.3
8	在宅で稼げる環境がある	36	12.0
9	セルフマネジメントができる	34	11.3
10	スキルを持っている	30	10.0
11	体力がある	24	8.0
12	上記あてはまるものはない	79	26.3
	全体	300	100.0

変数クラスター（3分類の指定の場合）



数量化3類（カテゴリースコア）



サマリーレポートはこちらを参照ください。

こちらを参照ください。

<https://istat.co.jp/investigation/2023/08/result>

統計分析研究所 株式会社アイスタットについて

【株式会社アイスタット（統計分析研究所）会社概要】

◇所在地 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-22-26 パラドール東高円寺3F（旧YTビル）

◇設立 2011年6月2日

◇代表者 代表取締役社長 志賀 保夫 / 代表取締役会長 菅 民郎

◇事業内容 株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。

◆本調査・弊社事業などに関するお問合せ先◆

統計分析研究所 株式会社アイスタット <https://istat.co.jp/>

総務部 橋本 有子 (somu@istat.jp) TEL: 03-3315-7637/FAX: 03-3315-7660

サービスのご案内

株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。「わかりやすい統計学」をモットーに、8つのコア・サービスをみなさまにご提供いたします。

